



東京立川ロータリークラブ

2019.3.8 第2830回 例会

Weekly Report



本日の卓話講師の茅沼孝治様と埋田真利子様を囲んで

【司会進行】

SAA委員会 矢澤俊一委員

【開会点鐘】 清水淳一会長

【国歌斉唱】

【ロータリーソング斉唱】

『それでこそロータリー』

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

【お客様挨拶】

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 齋藤 優委員

【出席率の発表】

出席委員会 米田典弘委員

3月8日(金)	会 員 数	112名
	出席義務会員	102名
	出席免除会員	10名
	当日出席者	90名
	出席免除会員の当日出席者	2名
	出席率	85.57%
	2月23日の出席率	87.70% → 93.20%

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 益子悦雄委員長

【卓話】 立川市市民生活部

防災課課長 茅沼孝治様

【閉会点鐘】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

本日例会前、パレスホテルのサンサンロード側において、東北大震災の時の「東北の枝垂れ桜・記念碑」の清掃事業を行いました。西国立保育園の子ども達と共にご参加頂いた皆様有難うございました。また社会奉仕委員会の皆様ご苦勞様でした。2011年3月11日から8年経ちますが、いまだ仮設住宅にお住いの方々が多くおられるとの事です。東京オリンピック・パラリンピックまでには、仮設住宅からの完全移住を遂げるとのこと、一日も早くできることを願います。本日は立川市の防災計画について勉強させていただきます。さて、先の3月3日は「桃の節句」ひな祭り、女の子のお祭りでした。皆様はもう雛飾りを片付けましたでしょうか。あんまりのんびりしていると娘がお嫁に行けなくなると言われます。ところで、今日は国際女性デーです。世界各国から職員が集まる国連で、職員の男女同率を目指す動きが強まっているそうです。グレーテス事務総長が力を入れ、幹部会議出席者の数は女性が男性を逆転しました。日本人女性として初の軍縮部門トップとなった中満泉(なかみついずみ)事務次長は、「トップリーダーが責任を持ち、しっかり計画を立てれば実現できる」と指摘しました。国連の仕事は平和や安全保障、開発など様々な分野でニーズを把握して対応すること、ニーズの半分は女性のもので強調し、女性の視点が強まることで、より現実に沿った対応が可能になるそうです。日本の男性社会を突き破るためには女性が個人としての実力をつけ、ネットワークを作る必要があると強調しています。国際ロータリー第2750地区ガバナー・地区幹事・地区大会実行委員長、次期地区大会ホストクラブ東京六本木ロータリークラブ会長、それぞれ皆様女性でした。ロータリーの世界でも女性がだんだん進出してきたと思います。私もあと4ヶ月、女性に負けじとまわしを締め直して頑張ります。



清水淳一会長

【お客様の紹介】 清水淳一会長

川名法人様(東京八王子ロータリークラブ 60周年実行委員会委員長)

土屋 隆様(東京八王子ロータリークラブ 60周年実行委員会副委員長)

【卓話講師】 茅沼孝治様(立川市市民生活部防災課課長)

埋田真利子様(立川市市民生活防災課)

2018~2019年度 RIテーマ

2018~2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



インスピレーションになる

2018~2019年度 クラブテーマ

「一期一会
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ
会長 清水淳一



司会進行
矢澤俊一委員



ニコニコ発表
齋藤 優委員



出席率の発表
米田典弘委員



例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様挨拶】

川名法人様(東京八王子ロータリークラブ 60周年実行委員会委員長)
土屋 隆様(東京八王子ロータリークラブ 60周年実行委員会副委員長)

貴重なお時間を頂戴して、本日は創立60周年の案内に参りました。50周年が終わってもう60周年が来たという感じがしており、当クラブとは親子クラブではありますが、兄弟クラブという感覚でおります。昭和35年東京北RCをスポンサークラブとして発足しましたが、武蔵野クラブについて2番目のクラブであります。節目とは言えどもあまり煌びやかに催すのではなく、少々控えめに創立60周年記念特別例会という形で開催を予定しており、会長幹事様にはご案内を送付させて頂いております。質素ではありますが、会員も含めてお祝い出来る席としたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。



【幹事報告】 平井洋孝幹事

●本日11:00より、東北の枝垂れ桜記念碑清掃事業を開催。●東京昭島中央ロータリークラブ創立30周年の登録及び集金は本日まで。●東京国立ロータリークラブ創立50周年記念式典が、3月13日(水)パレスホテルにて開催予定。15:30登録開始16:00スタート。●2017-18年度の年次報告書配布。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 齋藤 優委員

- 東京八王子ロータリークラブ 60周年実行委員会委員長 川名法人様
東京八王子RCが四月二十五日に創立60周年記念例会を開きますので、御挨拶に参りました。
- 清水淳一会長 卓話講師でいらっしゃいます茅沼孝治様、お忙しい中お越し頂き有難うございます。卓話楽しみにしております。東京八王子ロータリークラブ60周年実行委員会 川名法人委員長、土屋隆副委員長のご来訪を歓迎いたします。東北の枝垂れ・記念碑の清掃事業に際しまして、金子会員と西国立保育園しろ組の子ども達、そして引率の先生方並びに会員の皆様、ご協力感謝致します。有難うございました。社会奉仕委員会の皆様、お疲れ様でした。
- 平井洋孝幹事 東京八王子ロータリークラブ60周年実行委員会委員長 川名法人様、副委員長 土屋 隆様のご来訪を歓迎致します。立川市市民生活部防災課長 茅沼孝治様、本日は宜しくお願ひ申し上げます。
- 村野安成さん 先週(三月二日)、褒章授章祝賀会を行いました。有難うございました。
- 宮崎昭人さん 入会記念月のお祝い、ありがとうございます。
- 金子幹広さん 本日の「東北の桜」清掃では、園児がお世話になりました。明日の卒園式を前に、子ども達にも良い奉仕体験となりました。

●松浦孝治さん 本日は社会奉仕委員会の最後の事業であります、「東北の枝垂れ・記念碑の清掃」に早い時間から参加くださり、誠に有難うございました。また卒園式を明日に控えた西国立保育園様のご協力に、深く感謝申し上げます。

本日合計 34,000円 本年度累計 2,236,000円

【卓話講師紹介】

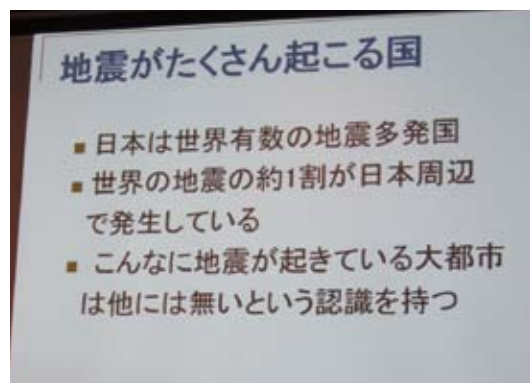
プログラム委員会 益子悦雄委員長

8年前の3月11日に東日本大震災が発生致しましたが、災害に対する意識も薄れてきているのではないのでしょうか。立川には立川断層がある、いや実はなかったという話もありますが、地域で災害が起きた時に自分の身を守る為に何が必要か、防災計画として立川市はどのように考えているのか、改めて考えて頂ければという事で、会長からのたつての希望で実現を致しました。



卓話「立川市の防災計画について」 立川市市民生活部防災課課長 茅沼孝治様

本日は例会にお招き頂き、誠に有難うございます。この場を借りて、機会を設けて頂きました清水会長、益子委員長はじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。



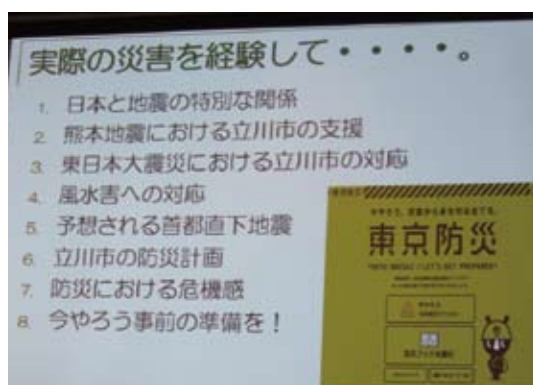
本日は「これからの防災対策について～その日のために!地域で取り組む防災まちづくり」という内容で、お話しをさせて頂きたく思います。まず日本と地震の特別な関係という事でお伝えしたいと思いますが、日本は御存知の通り世界有数の地震多発国であり、世界の地震の約10%が日本周辺で発生しています。世界でもこれだけ地震が起きる大都市は他にありませんので、それだ

け防災という事に高い認識を持つ必要があるのです。先に結論を申し上げるとすれば、今すぐに震災に対する備えを最大限にして頂きたいという事です。

国名	回数	国名	回数
イギリス	0	アメリカ	1,886
フランス	3	ロシア	1,340
ドイツ	3	中国	1,412
イタリア	99	日本	3,332

ハーバート大による(1977-2016)

続いてハーバード大学の調査による最近40年間の地震発生率(M5以上)についてですが、イギリスは0回、フランス・ドイツは3回、イタリアは地震が多いという認識があるかもしれませんが、それでも99回です。そしてアメリカ1,886回、ロシア1,340回、中国1,412回と国土も大きい為、かなり多くの回数が発生しています。これに対して日本は3,332回という事で、比べ物にならない程の数字であり、これが今すぐに対策を採ってくださいと申し上げている所以です。



続いては熊本地震における立川市の支援を紹介させていただきます。大きくは4つの支援をさせていただきました。①義援金の受付②支援物資の提供③職員の派遣④熊本から立川市内へ避難した方への支援です。そして派遣の概要としては、7回に分けて延べ10名で、被災建築物応急危険度判定員、罹災証明書発行の為に建築家屋調査関係業務にあたりました。実際に被害の大きかった熊本県益城町は熊本空港を擁する地域であり、2017年11月に実際に視察にも伺ってきました。益城町庁舎の施設は現在使用されておらず、仮設での営業となっており、今後再建される予定となっています。しかし当時は全国から派遣されている職員のオペレーションの場所がないため、閉鎖されている庁舎の一角を使用せざるを得ませんでした。そして罹災証明書発行の為に家屋調査では、地の利が分からない為に地元の方に

誘導して頂いてマイクロバスに乗って現地に行き、各班に分かれて調査をしていました。罹災の家屋の特徴は1階が潰れてしまう事ですが、現地では被災後に瓦泥棒なる者が出てきて、盗んでは売りさばくという状況もあったようです。また調査では道路が壊れて先に進めないという状況も多くあり、当然その場合は徒歩にて先に進むという事も多くありました。また避難所では現地の住民の皆様に対しての情報発信という事も非常に大切で、掲示板を利用して罹災証明の受付を行なっているであるとか、地域の現状を伝える書面を掲示してお伝えをしておりました。全国からの支援物資は続々と到着していたのですが、避難所のグラウンドにトラックが詰め掛けて、なかなか物資が下ろせず渋滞するような事も起きていましたが、物資の中では特に乳児向けの紙おむつも多く積まれていました。またペットの餌についても各地から送られてきており、無償で提供されていました。ただ避難所の中での飼育はさすがに出来ないもので、建物の外にゲージが並べられておりました。また外では自衛隊による水の給水も行なわれておりました。そして体育館は被災者が寝泊りするスペースとなっていました。個々の区画は整然としておりませんでした。立川市としてはこのような災害の場合、予めダンボール等によって区切ってから避難者を受け入れる事で、最低限ではありますがプライバシーも確保出来るように努めてまいります。その後再度調査のために平成29年に訪問をしました。熊本城についても訪問しましたが、城壁の損害が大きく復元はパズルを組み合わせるような地道な作業で、とても時間が掛かるようです。災害当時の状況をお見せしましたが、その後は建物が全て再建されている訳ではなく、どちらかという取り壊したまま更地になっているという事が散見されました。所見としてはまだまだ復興に時間が掛かるという印象がありました。

続いて東日本大震災における立川市の対応についてお伝えいたします。当時の立川市の被害状況ですが、ガラスの破損等の被害が発生し、民間の建物で一部損壊が7件ありました。その他の被害、火災被害、ライフラインの被害はありませんでしたが、固定電話・携帯電話は輻輳により通じにくい状態が続きました。一方ご存知の通り東北地方は甚大な被害を受けましたが、岩手県大槌町には震災当時から1名を派遣し、その後も2名ずつ1年間の派遣をして支援を続けております。また当時の立川市の災害対応としては、帰宅困難者等への対応、計画停電の周知、被災地からの避難者受入れ、被災地への救援物資の提供、被災地への職員の派遣、義援金、福島第一原子力発電所の事故による市内の影響調査等を行ないました。その中でも一番の事は、帰宅困難者等への対応でありました。立川はターミナルの拠点と

もなっておりますし、JR等交通機関が止まってしまった為に、多くの帰宅困難者が発生し、立川駅を目指して徒歩にて来られる状況であり、また道路も渋滞し殆ど動かなくなってしまった事もご記憶にあらうかと思えます。帰宅困難者等への対応として、3月11日(金)の地震発生当初からJR、私鉄各線が運行を停止。私鉄は当日の深夜、JRは翌朝に運転を再開となり、多摩都市モノレールは安全確認後に運転を再開となった為、駅前の混乱を防止するため、駅前滞留者、帰宅困難者を避難所(一時滞在施設)へ誘導し、公共施設等を合わせ11ヶ所の避難所を開設して、約2,600人が利用されました。また3月12日(土)の10時22分まで避難所を開設し、最終的には毛布2,970枚(避難所とタクシー待合者へ配布)、アルファ化米3,650食・携帯カイロ2,400個、トイレトーパーパー300ロールを配布しました。次に風水害への対応についてですが、豪雨の発生回数が気象庁のホームページに掲載されており、それによると時間降水量50ミリ以上の豪雨は、10年あたりで21.5回増加していると出ております。立川市でも平成19年の台風9号の際に多摩川が満水ギリギリの状態になりました。また瑞穂町付近で記録的短時間大雨情報として、約110ミリの降雨量を記録しましたので、災害対策本部を設置し会議を開催、その際に滝之上会館、柴崎会館、錦学習館を避難所として開設する事を決定しました。最終的には立川市内で床上浸水が8件、床下浸水が59件、避難所開設は5ヶ所でした。次に予想される首都直下地震についてです。首都

地域では200年から300年周期で、関東大震災クラス(M8)の地震が起きておりますので、それほど逼迫した状況にはないかもしれませんが、M6～M7クラスの地震は頻発してありまして、今後30年間にM7クラスの地震が発生する確率は約70%とされております。しかしこれは30年後に起こる訳ではありませんので、今日からの備えが必要なのです。続いて多摩直下型地震M7.3が発生した際の被害想定としては、建物の全半壊が約4,600棟、避難者は約40,000名となっておりますが、立川断層帯M7.4が発生しますと、建物の全半壊約8,000棟、避難者は約70,000名となる予想です。これまで立川断層があるのかないのか、学者の間でも議論が続いておりますが、最新の研究では東大地震研の報告によると、立川北側の箱根ヶ崎断層は活断層である事が確実とされ、立川断層は活断層ではないとの判断をしております。しかし最終評価は政府の地震調査推進本部の審議を経て、公表される事になります。断層帯の地震については逼迫してはいないとは言うものの、直下地震の確率はかなり高い訳で、今日からでもしっかりとその準備しておく事が必要だと東大の佐藤教授は話されております。最後に立川市の防災計画についてですが、時間切れとなってしまいましたので、配布の資料をご覧頂きたいと思えます。いずれにしてもすぐに出来る準備は沢山ありますので、しっかりと資料を確認頂いて災害に備えて頂くよう、ハンドブック等含めてご活用頂けたら幸いです。ご静聴有難うございました。

掲示板 「東北の枝垂桜記念碑清掃」事業

西国立保育園の児童達と
参加頂いた皆様お疲れ様でした。
お天気にも恵まれ、
とてもキレイになりました。



会長から参加賞が手渡されました

事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】 ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／齊藤直人委員